

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

4項 市町村振興費

2目 自治振興費

移住定住促進課（内線：7128）→事業実施：移住定住促進室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起 債	その他 (雑入)	一般財源									
とっとり移住定住支援事業	13,919	7,270	6,649			12	13,907									
トータルコスト	45,402千円（前年度 30,106千円）															
従事する職員数	正職員：3.8人、非常勤職員1.0人															
主な業務内容	相談体制の整備、情報発信の強化、受入体制の整備															
<p>1 事業の概要 県外から本県への移住定住を促進するため、移住定住先として鳥取県を選んでいただくための情報発信及び受入体制等をさらに強化し、移住定住される方のニーズに合ったきめ細かい基盤整備を推進することにより、さらなる移住定住者の獲得を図る。</p>																
<p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談体制の整備 【2,651千円】 【1,012千円】</td> <td> <p>【新規】○相談スタッフ(非常勤1名)の設置による相談体制の強化。 (相談体制：職員2名+非常勤1名)</p> <p>【拡充】○県外での移住定住相談会に併せて、移住定住セミナーを実施し、移住定住に係るきめ細やかな情報を積極的に発信する。 (鳥取来楽暮カフェ)</p> </td> </tr> <tr> <td>情報発信の強化 【9,097千円】</td> <td> <p>○都市住民に向けて本県の豊かな自然環境や温かい県民性など、鳥取県の魅力や暮らしのすばらしさを情報発信する。</p> <p>【継続】 ①田舎暮らし関連雑誌での鳥取県紹介(年間)</p> <p>【継続】 ②広報ツールの作成による鳥取県PR ・ポスター、パンフレットの作成に加え、移住定住実践マニュアルを作成し、移住定住関連情報を提供する。</p> <p>③ふるさと回帰支援センターへの鳥取県PRブースを出展</p> <p>【継続】 ・平成20年7月から東京オフィスにPRブース設置。</p> <p>【新規】 ・平成21年4月から大阪オフィスにPRブース設置し、関西圏からの移住定住の促進を充実。</p> </td> </tr> <tr> <td>受入体制の整備 【845千円】 【314千円】</td> <td> <p>【新規】○市町村、関係機関等を対象に、おもてなし講座を開催し、各相談窓口の相談員のスキルアップを図り、受入体制の充実を図る。</p> <p>【新規】○移住定住者が慣れない土地での暮らしの相談や、地域により早く溶け込むための人的ネットワークづくりを応援するため、既移住者等が相互に交流を深めることができる機会を提供し、自主的なネットワークの構築を支援する。 (鳥取来楽暮ネットワーク)</p> <p>①価値実感生活満喫体験 ・鳥取県の価値や素晴らしさ等を実感してもらえる体験ツアーを実施し、移住者の永住化につなげるとともに、共通体験を通じ、相互のネットワークを築く機会の提供を図る。</p> <p>②鳥取来楽暮ネットワーク交流会 ・移住定住者のネットワークの拡大を図るため、県下の各ネットワークや移住者へ呼びかけ、交流会を開催する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	相談体制の整備 【2,651千円】 【1,012千円】	<p>【新規】○相談スタッフ(非常勤1名)の設置による相談体制の強化。 (相談体制：職員2名+非常勤1名)</p> <p>【拡充】○県外での移住定住相談会に併せて、移住定住セミナーを実施し、移住定住に係るきめ細やかな情報を積極的に発信する。 (鳥取来楽暮カフェ)</p>	情報発信の強化 【9,097千円】	<p>○都市住民に向けて本県の豊かな自然環境や温かい県民性など、鳥取県の魅力や暮らしのすばらしさを情報発信する。</p> <p>【継続】 ①田舎暮らし関連雑誌での鳥取県紹介(年間)</p> <p>【継続】 ②広報ツールの作成による鳥取県PR ・ポスター、パンフレットの作成に加え、移住定住実践マニュアルを作成し、移住定住関連情報を提供する。</p> <p>③ふるさと回帰支援センターへの鳥取県PRブースを出展</p> <p>【継続】 ・平成20年7月から東京オフィスにPRブース設置。</p> <p>【新規】 ・平成21年4月から大阪オフィスにPRブース設置し、関西圏からの移住定住の促進を充実。</p>	受入体制の整備 【845千円】 【314千円】	<p>【新規】○市町村、関係機関等を対象に、おもてなし講座を開催し、各相談窓口の相談員のスキルアップを図り、受入体制の充実を図る。</p> <p>【新規】○移住定住者が慣れない土地での暮らしの相談や、地域により早く溶け込むための人的ネットワークづくりを応援するため、既移住者等が相互に交流を深めることができる機会を提供し、自主的なネットワークの構築を支援する。 (鳥取来楽暮ネットワーク)</p> <p>①価値実感生活満喫体験 ・鳥取県の価値や素晴らしさ等を実感してもらえる体験ツアーを実施し、移住者の永住化につなげるとともに、共通体験を通じ、相互のネットワークを築く機会の提供を図る。</p> <p>②鳥取来楽暮ネットワーク交流会 ・移住定住者のネットワークの拡大を図るため、県下の各ネットワークや移住者へ呼びかけ、交流会を開催する。</p>
区 分	内 容															
相談体制の整備 【2,651千円】 【1,012千円】	<p>【新規】○相談スタッフ(非常勤1名)の設置による相談体制の強化。 (相談体制：職員2名+非常勤1名)</p> <p>【拡充】○県外での移住定住相談会に併せて、移住定住セミナーを実施し、移住定住に係るきめ細やかな情報を積極的に発信する。 (鳥取来楽暮カフェ)</p>															
情報発信の強化 【9,097千円】	<p>○都市住民に向けて本県の豊かな自然環境や温かい県民性など、鳥取県の魅力や暮らしのすばらしさを情報発信する。</p> <p>【継続】 ①田舎暮らし関連雑誌での鳥取県紹介(年間)</p> <p>【継続】 ②広報ツールの作成による鳥取県PR ・ポスター、パンフレットの作成に加え、移住定住実践マニュアルを作成し、移住定住関連情報を提供する。</p> <p>③ふるさと回帰支援センターへの鳥取県PRブースを出展</p> <p>【継続】 ・平成20年7月から東京オフィスにPRブース設置。</p> <p>【新規】 ・平成21年4月から大阪オフィスにPRブース設置し、関西圏からの移住定住の促進を充実。</p>															
受入体制の整備 【845千円】 【314千円】	<p>【新規】○市町村、関係機関等を対象に、おもてなし講座を開催し、各相談窓口の相談員のスキルアップを図り、受入体制の充実を図る。</p> <p>【新規】○移住定住者が慣れない土地での暮らしの相談や、地域により早く溶け込むための人的ネットワークづくりを応援するため、既移住者等が相互に交流を深めることができる機会を提供し、自主的なネットワークの構築を支援する。 (鳥取来楽暮ネットワーク)</p> <p>①価値実感生活満喫体験 ・鳥取県の価値や素晴らしさ等を実感してもらえる体験ツアーを実施し、移住者の永住化につなげるとともに、共通体験を通じ、相互のネットワークを築く機会の提供を図る。</p> <p>②鳥取来楽暮ネットワーク交流会 ・移住定住者のネットワークの拡大を図るため、県下の各ネットワークや移住者へ呼びかけ、交流会を開催する。</p>															